

Banking on **CLIMATE CHAOS**

FOSSIL FUEL FINANCE REPORT **2025**

気候カオスをもたらす銀行業務 化石燃料ファイナンス報告書2025



要約版

発行日:2025年9月



BANKTRACK



要約

2023年に温室効果ガス(GHG)濃度が記録的な水準に達し、翌年の2024年は観測史上最も暑い年となった。この異常な気温と温室効果ガス濃度は、異常気象の発生頻度および深刻度を増大させ、世界中のコミュニティに被害をもたらしている。こうした状況の悪化は偶然ではない。それは、化石燃料企業、化石燃料企業に資金を提供する金融機関、化石燃料市場を監督する政策立案者による選択の結果である。この世界的な権力の不均衡により、大企業は莫大な利益を得ている。私たちの地球と、気候危機の責任が最も少なく、しかも気候災害の最前線に立たされている世界中のコミュニティを犠牲にして。

例年同様、『気候カオスをもたらす銀行業務』連合(Banking on Climate Chaos Coalition)による本報告書は、気候変動によって引き起こされる個人やコミュニティ、生態系、経済、そして地球への被害を銀行がどれほど助長しているかを評価・分析している。また銀行の資金提供が、住まいや健康、暮らしのために闘う最前線のコミュニティにもたらしている被害にも注目している。今回の主な調査結果には、世界の銀行がこれまでに「ネットゼロ」などの気候変動対策に関する方針を採用してきたにもかかわらず、**2024年には気候に関する誓約の多くを後退させ、化石燃料ファイナンスを大幅に増加させた点が挙げられる。それには、化石燃料の拡大計画を有する企業(以下、「化石燃料拡大企業」)への資金提供の強化も含まれる。**

こうした傾向は、エネルギー安全保障の確保やコミュニティの保護、そして地球の健全性のために新たな化石燃料の供給やインフラは必要ないという、あらゆる証拠に真っ向から反している。新規のパイプライン、タンカー、油田、またはその他いかなる形の化石燃料供給は一切不要であるにもかかわらず、**銀行は依然として化石燃料の拡大に資金を投じ続け、その結果として人々や経済、そして地球に被害をもたらしている。**

気候危機が深刻化し、銀行の顧客や株主、そして銀行が事業を展開するコミュニティ(地域社会)に影響を及ぼす中、**銀行には化石燃料ファイナンスを大幅に削減する移行計画を採用する責任がある。これには化石燃料拡大への資金提供の即時停止も含まれる。**しかし2024年における世界の大手銀行による化石燃料ファイナンスの大幅な増加——特に化石燃料拡大への資金提供の増加——は、銀行セクターがパリ協定の目標達成に必要なスピードと規模で化石燃料ファイナンスから脱却するための移行に必要な措置を自主的に講じないことを明確に示している。ゆえに、気候、コミュニティ、経済を化石燃料ファイナンスの悪影響から守るためには、**政策立案者がパリ協定の公約に実効性を持たせるべく規制を強化し、金融機関の責任を全うさせることが不可欠である。**

2024年、世界の大手銀行は、気候に関する誓約の多くを後退させ、**化石燃料の拡大計画を有する企業への資金提供の強化を含め、化石燃料ファイナンスを大幅に増加させた。**

調査結果の概要

2024年、世界の最大手銀行**65**行は、化石燃料事業を展開する企業に対し、総額**8,690億米ドル**の資金提供(融資・引受)にコミットした。

同年、世界の最大手銀行**65**行は、化石燃料の生産拡大を進める企業に対し、総額**4,290億米ドル**の資金提供をコミットした。

本報告書で対象とした銀行の**3分の2**を超える45行は、2023年比で化石燃料への資金提供を増加させた。また**65**行のうち**48**行が、2023年比で化石燃料拡大への資金提供を増加させた。

化石燃料ファイナンス 上位5行 (2024年)

銀行	融資・引受額、単位:B=十億ドル
JPモルガン・チェース	\$53.5 B
バンク・オブ・アメリカ	\$46.0 B
シティ	\$44.7 B
みずほフィナンシャルグループ	\$40.3 B
ウェルズ・ファーゴ	\$39.3 B

化石燃料ファイナンス 上位5行 (2021~2024年)

銀行	融資・引受額、単位:B=十億ドル
JPモルガン・チェース	\$192.3 B
シティ	\$160.7 B
バンク・オブ・アメリカ	\$158.9 B
三菱UFJフィナンシャル・グループ(MUFG)	\$155.3 B
みずほフィナンシャルグループ	\$150.9 B

気候変動緩和に関する方針を後退させた銀行が増加している。これが化石燃料ファイナンスの拡大につながったと推定される。

本報告書で対象とした**65**行は、パリ協定が発効した2016年以降、総額**7.9兆ドル**を化石燃料事業に提供してきた(2024年までの累計)。

2021年から2024年、世界の大手銀行は累計で総額**1.6兆ドル**を化石燃料拡大に投じている。

化石燃料拡大へのファイナンス 上位5行 (2024年)

銀行	融資・引受額、単位:B=十億ドル
JPモルガン・チェース	\$27.8 B
バンク・オブ・アメリカ	\$23.5 B
みずほフィナンシャルグループ	\$22.0 B
シティ	\$21.0 B
中国中信銀行(CITIC)	\$18.4 B

化石燃料拡大へのファイナンス 上位5行 (2021~2024年)

銀行	融資・引受額、単位:B=十億ドル
JPモルガン・チェース	\$89.1 B
シティ	\$81.4 B
みずほフィナンシャルグループ	\$76.3 B
バンク・オブ・アメリカ	\$74.4 B
三菱UFJフィナンシャル・グループ(MUFG)	\$63.7 B

化石燃料ファイナンスに関する調査結果

「化石燃料ファイナンス2025」一覧表(1/2)

本リーグテーブル(ランキング)は、約**2,730**社の子会社レベルの企業(化石燃料のライフサイクル全体で事業を行う独立系企業または親会社)および約**1,800**社の親会社レベルの企業に対する、銀行の融資・引受に関する分析に基づくものである。

2024年順位/変動 (2023年比)		国	銀行	資金提供額の増減 (2023年比)
1	—		JPモルガン・チェース	+\$15.0 B
2	+2		バンク・オブ・アメリカ	+\$12.7 B
3	+3		シティ	+\$14.9 B
4	-2		みずほフィナンシャルグループ	+\$4.6 B
5	—		ウェルズ・ファーゴ	+\$9.1 B
6	-3		三菱UFJフィナンシャル・グループ	+\$3.8 B
7	+3		パークレイズ	+\$12.6 B
8	-1		ロイヤル・バンク・オブ・カナダ(RBC)	+\$4.9 B
9	+2		トロントドミニオン(TD)	+\$9.1 B
10	+3		ゴールドマン・サックス	+\$9.5 B
11	-3		三井住友フィナンシャルグループ	-\$1.0 B
12	—		モルガン・スタンレー	+\$7.6 B
13	-4		スコシアバンク	+\$2.1 B
14	+2		カナディアン・インペリアル・バンク・オブ・コマース(CIBC)	+\$6.4 B
15	—		中国中信銀行(CITIC)	+\$6.1 B
16	-2		BMOフィナンシャル・グループ	+\$3.0 B
17	+1		中国銀行	+\$4.9 B
18	+1		サンタンデール	+\$3.3 B
19	-2		トゥルーイスト・ファイナンシャル	+\$2.3 B
20	+6		HSBC	+\$4.2 B
21	-1		中国工商銀行(ICBC)	+\$2.1 B
22	+2		PNC	+\$2.6 B
23	-1		ドイツ銀行	+\$1.1 B
24	+3		BNPパリバ	+\$3.4 B
25	—		USバンコープ	+\$863 M
26	+2		招商銀行	+\$2.6 B
27	-4		クレディ・アグリコル	-\$97 M
28	+7		興業銀行	+\$4.6 B
29	—		ソシエテ・ジェネラル	+\$1.8 B
30	+3		スタンダードチャータード	+\$3.6 B

B = 十億米ドル M = 百万米ドル T = 兆米ドル



銀行の順位は、2024年の融資・引受総額に基づいて算出されている。分析手法の詳細については、報告書全文の56ページにある「**方法論概要**」を参照されたい。

B = 十億米ドル M = 百万米ドル T = 兆米ドル



2021	2022	2023	2024	合計 (2021~2024)
\$61.7 B	\$38.7 B	\$38.5 B	\$53.5 B	\$192.3 B
\$42.8 B	\$36.9 B	\$33.3 B	\$46.0 B	\$158.9 B
\$49.7 B	\$36.5 B	\$29.8 B	\$44.7 B	\$160.7 B
\$38.0 B	\$36.9 B	\$35.7 B	\$40.3 B	\$150.9 B
\$37.6 B	\$36.4 B	\$30.2 B	\$39.3 B	\$143.4 B
\$43.7 B	\$39.2 B	\$34.3 B	\$38.1 B	\$155.3 B
\$21.7 B	\$19.0 B	\$22.8 B	\$35.4 B	\$98.9 B
\$35.4 B	\$33.1 B	\$29.5 B	\$34.3 B	\$132.4 B
\$22.4 B	\$24.8 B	\$19.9 B	\$29.0 B	\$96.0 B
\$22.6 B	\$17.2 B	\$19.0 B	\$28.5 B	\$87.2 B
\$31.0 B	\$28.7 B	\$28.9 B	\$27.9 B	\$116.4 B
\$21.2 B	\$14.7 B	\$19.5 B	\$27.0 B	\$82.4 B
\$27.4 B	\$25.3 B	\$24.2 B	\$26.2 B	\$103.1 B
\$23.2 B	\$18.6 B	\$15.9 B	\$22.3 B	\$80.0 B
\$20.1 B	\$19.1 B	\$16.2 B	\$22.3 B	\$77.7 B
\$18.2 B	\$17.0 B	\$16.9 B	\$19.9 B	\$72.1 B
\$19.5 B	\$17.0 B	\$13.9 B	\$18.8 B	\$69.2 B
\$9.6 B	\$7.5 B	\$13.9 B	\$17.3 B	\$48.3 B
\$14.9 B	\$17.1 B	\$14.3 B	\$16.6 B	\$62.9 B
\$23.0 B	\$16.3 B	\$12.0 B	\$16.2 B	\$67.5 B
\$19.0 B	\$24.3 B	\$13.7 B	\$15.8 B	\$72.7 B
\$11.8 B	\$17.1 B	\$12.7 B	\$15.3 B	\$56.9 B
\$12.2 B	\$9.7 B	\$13.3 B	\$14.3 B	\$49.5 B
\$22.6 B	\$19.2 B	\$10.7 B	\$14.1 B	\$66.5 B
\$14.0 B	\$13.6 B	\$12.1 B	\$13.0 B	\$52.8 B
\$14.1 B	\$12.8 B	\$10.3 B	\$12.8 B	\$50.0 B
\$15.8 B	\$14.4 B	\$12.8 B	\$12.7 B	\$55.8 B
\$12.7 B	\$7.1 B	\$7.2 B	\$11.8 B	\$38.9 B
\$19.3 B	\$13.0 B	\$9.9 B	\$11.7 B	\$53.9 B
\$11.3 B	\$7.7 B	\$7.6 B	\$11.2 B	\$37.9 B

「化石燃料ファイナンス2025」一覧表(2/2)

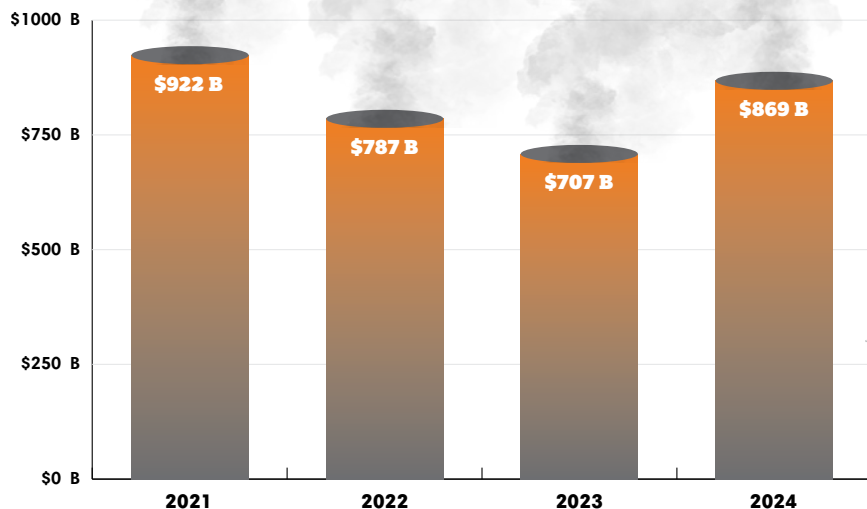
B = 十億米ドル M = 百万米ドル T = 兆米ドル

2024年順位/変動 (2023年比)		国	銀行	資金提供額の増減 (2023年比)	2021	2022	2023	2024	合計 (2021~2024)
31	+1		グループBPCE	+\$3.2 B	\$10.5 B	\$8.2 B	\$7.8 B	\$11.0 B	\$37.5 B
32	-11		ING	-\$3.2 B	\$12.8 B	\$9.0 B	\$13.3 B	\$10.2 B	\$45.3 B
33	+14		中国農業銀行	+\$5.7 B	\$13.7 B	\$11.7 B	\$3.7 B	\$9.3 B	\$38.4 B
34	+2		バンコ・ビルバオ・ビスカヤ・アルヘンタリア (BBVA)	+\$3.2 B	\$6.5 B	\$8.2 B	\$6.1 B	\$9.2 B	\$30.0 B
35	-1		中国光大	+\$844 M	\$9.0 B	\$7.1 B	\$7.5 B	\$8.4 B	\$32.0 B
36	-6		UBS	-\$390 M	\$22.0 B	\$15.1 B	\$8.2 B	\$7.8 B	\$53.2 B
37	+3		中国建設銀行	+\$2.6 B	\$8.6 B	\$9.1 B	\$4.9 B	\$7.5 B	\$30.1 B
38	-7		上海浦東発展銀行	-\$1.3 B	\$11.5 B	\$8.3 B	\$7.9 B	\$6.6 B	\$34.3 B
39	-2		ウニクレディト	+\$186 M	\$5.8 B	\$8.0 B	\$6.0 B	\$6.2 B	\$26.0 B
40	+2		キャピタル・ワン・ファイナンシャル	+\$1.1 B	\$4.1 B	\$4.9 B	\$4.4 B	\$5.5 B	\$18.9 B
41	-3		インテザ・サンパオロ	-\$656 M	\$6.7 B	\$4.5 B	\$5.6 B	\$5.0 B	\$21.8 B
42	-3		中国平安保険	-\$642 M	\$10.4 B	\$5.0 B	\$5.3 B	\$4.7 B	\$25.4 B
43	+5		コメルツ銀行	+\$1.4 B	\$2.9 B	\$2.6 B	\$3.1 B	\$4.5 B	\$13.1 B
44	+10		イタウ・ユニバンコ	+\$1.9 B	\$1.8 B	\$1.4 B	\$1.9 B	\$3.8 B	\$8.9 B
45	-1		ラボバンク	-\$504 M	\$3.1 B	\$2.7 B	\$4.3 B	\$3.8 B	\$13.9 B
46	+6		ナットウエスト	+\$615 M	\$2.9 B	\$2.0 B	\$2.1 B	\$2.7 B	\$9.6 B
47	+2		インドステイト銀行	+\$65 M	\$3.6 B	\$1.9 B	\$2.6 B	\$2.6 B	\$10.6 B
48	-3		DBSグループ	-\$1.4 B	\$4.0 B	\$3.1 B	\$4.0 B	\$2.6 B	\$13.8 B
49	-6		ラ・カイヤ・グループ	-\$1.9 B	\$7.6 B	\$3.9 B	\$4.4 B	\$2.4 B	\$18.4 B
50	-9		中国民生銀行	-\$2.3 B	\$3.1 B	\$2.0 B	\$4.4 B	\$2.1 B	\$11.6 B
51	-5		交通銀行	-\$1.7 B	\$9.4 B	\$10.2 B	\$3.9 B	\$2.1 B	\$25.6 B
52	+1		オーストラリア・ニュージーランド銀行 (ANZ)	+\$54 M	\$1.7 B	\$2.5 B	\$2.0 B	\$2.1 B	\$8.4 B
53	-2		ロイズ・バンキング・グループ	-\$673 M	\$2.0 B	\$1.9 B	\$2.3 B	\$1.6 B	\$7.9 B
54	+5		KB金融グループ	+\$341 M	\$1.2 B	\$949 M	\$1.2 B	\$1.6 B	\$5.0 B
55	—		ノルデア	-\$222 M	\$1.6 B	\$1.1 B	\$1.7 B	\$1.5 B	\$5.9 B
56	+4		ナショナルオーストラリア銀行 (NAB)	+\$425 M	\$3.2 B	\$1.8 B	\$1.1 B	\$1.5 B	\$7.6 B
57	+1		ダンスケ銀行	+\$8 M	\$1.4 B	\$883 M	\$1.3 B	\$1.3 B	\$4.9 B
58	-2		中国郵政儲蓄銀行	-\$396 M	\$3.1 B	\$2.2 B	\$1.7 B	\$1.3 B	\$8.2 B
59	-9		DZ銀行	-\$1.2 B	\$1.1 B	\$1.8 B	\$2.5 B	\$1.3 B	\$6.6 B
60	+1		ウェストバック銀行	+\$534 M	\$832 M	\$1.6 B	\$608 M	\$1.1 B	\$4.2 B
61	-4		華夏銀行	-\$375 M	\$4.3 B	\$3.3 B	\$1.5 B	\$1.1 B	\$10.2 B
62	—		オーストラリア・コモンウェルス銀行	+\$35 M	\$1.2 B	\$482 M	\$581 M	\$616 M	\$2.9 B
63	—		クレディ・ミュチュエル	-\$172 M	\$324 M	\$73 M	\$225 M	\$53 M	\$675 M
64	—		ラ・バンク・ポスタル	-\$73 M	\$284 M	\$9 M	\$110 M	\$37 M	\$440 M
65	—		ズベルバンク	-\$22 M	\$3.6 B	\$22 M	\$22 M	-	\$3.6 B
* リーグテーブルは、2021年から2024年にかけて行われた、現時点での全ての銀行子会社による融資・引受を、親銀行単位で集計し、報告したものである。一部の事例においては、子会社を買収される前に実行した融資・引受も含まれている。注目すべき例として、2023年にUBSがクレディ・スイスを買収したケースが挙げられる。クレディ・スイスは、過去に「化石燃料ファイナンス」報告書で個別に取り上げられていた銀行である。この場合、買収前にクレディ・スイスが実行した融資・引受は、UBSの合計に含まれている。					\$922.3 B	\$786.7 B	\$706.9 B	\$869.4 B	\$3.3 T

分析：化石燃料ファイナンスの動向

2024年、世界の最大手銀行**65**行は、化石燃料事業を行う企業に対し、総額**8,690億米ドル**の融資・引受をコミットした。2021年以降の累計総額は、およそ**3兆3,000億米ドル**に達している。2024年の化石燃料ファイナンス総額は、前年(2023年)と比べて**1,620億ドル**以上も増加し、顕著な上昇傾向を示している。この傾向は、化石燃料供給や化石燃料インフラ拡大を推進する企業への資金提供が増加しているという事実を踏まえると、特に憂慮すべきものである。

化石燃料ファイナンスの推移 (2021年～2024年、単位:B=十億ドル)



2024年は**8,690億米ドル**
2021年～2024年の累計は
3兆3,000億米ドルに迫る

2024年も、**JPモルガン・チェース**は化石燃料事業に**535億米ドル**を投じ、化石燃料事業への世界最大の資金提供者となった。**バンク・オブ・アメリカ**は2024年、順位を2つ上げ、化石燃料事業に対する世界第2位の資金提供者となった。本報告書で取り上げた銀行の3分の2以上(45行)が、2023年から2024年にかけて化石燃料への資金提供を増加させた。**シティ**、**JPモルガン・チェース**、**バンク・オブ・アメリカ**、**バークレイズ**の各行は、前年よりもそれぞれ**120億米ドル**以上多くの資金を提供している。

化石燃料ファイナンス増加額の上位10行 (2024年、前年比) 単位:B=十億ドル

銀行	増加額	増加率
JPモルガン・チェース	\$15.0 B	39.03%
シティ	\$14.9 B	49.88%
バンク・オブ・アメリカ	\$12.7 B	38.22%
バークレイズ	\$12.6 B	55.48%
ゴールドマン・サックス	\$9.5 B	50.26%
トロントドミニオン	\$9.1 B	45.80%
ウェルズ・ファーゴ	\$9.1 B	30.16%
モルガン・スタンレー	\$7.6 B	38.81%
CIBC	\$6.4 B	40.51%
CITIC	\$6.1 B	37.93%

米国、日本、カナダの銀行が世界ランキングの上位を占め、欧州および中国の銀行が続いている。

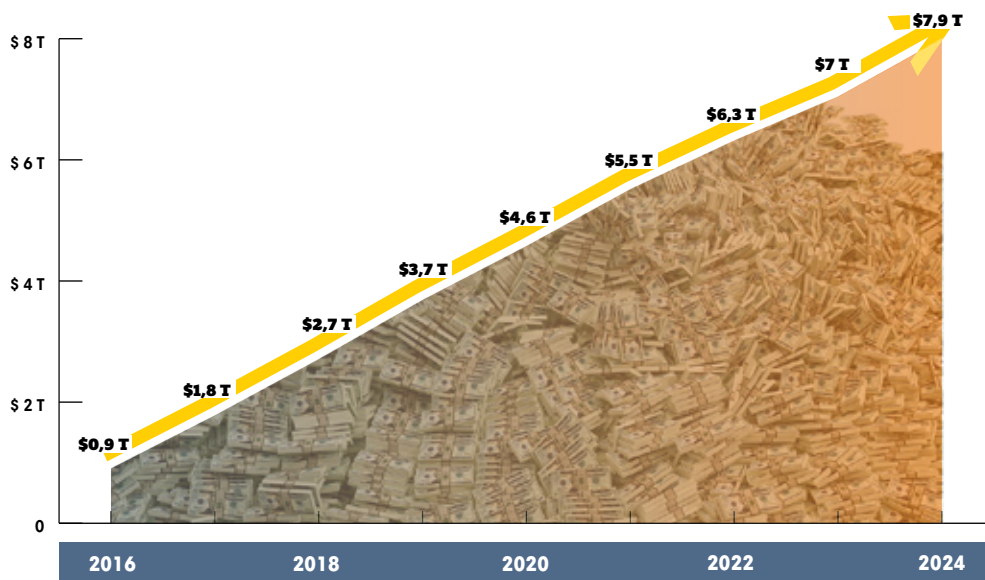
化石燃料への資金提供の増加は、新たな化石燃料インフラが、今後数十年にわたる化石燃料への依存を固定化させるため、懸念される。国際エネルギー機関(IEA)の「2024年エネルギー投資見通し」報告書が述べているように、「**2050年までに世界全体でネットゼロを達成するためには、石油・ガス・石炭への年間投資額を半分以上削減する必要がある(2030年までに)。**」。

言い換えれば、**銀行の資金提供に関する意思決定は、人々や地球よりも、短期的な利益の可能性を優先している**のである。さまざまなマクロ経済的および政治的要因が、個別の判断に影響を及ぼした可能性はあるものの、最終的に重要なのは結果である。社会が銀行に対して明確に逆の行動を求めているにもかかわらず、銀行は化石燃料産業の拡大に、さらに多くの資金を投入したのである。

パリ協定以降の化石燃料ファイナンスの動向

本報告書で対象とした**65行は、パリ協定が発効した2016年以降、化石燃料に対して総額7.9兆ドルの資金提供をコミットしている。**昨年までの報告書では2016年以降の化石燃料ファイナンスを報告してきたが、本年の報告書では、気候変動対策に極めて重要な直近4年間で重視し、2021年以降の融資・引受に焦点を置いている。それでもなお、パリ協定発効後の9年間における累積的な資金提供額の全体像を示すために、以下のグラフも掲載する。2024年の化石燃料ファイナンスの増加が、パリ協定実効以降の年間伸び率と類似しているという、憂慮すべき傾向が明らかである。

化石燃料ファイナンス累計額(2025年の対象銀行)(2016年~2024年)
単位:十億米ドル



2024年のワースト12銀行

銀行

化石燃料全部門への融資・引受額
(2024年単年、単位: BILLION=十億ドル)

JPモルガン・チェース	\$53.5 BILLION
バンク・オブ・アメリカ	\$46.0 BILLION
シティ	\$44.7 BILLION
みずほフィナンシャルグループ	\$40.3 BILLION
ウェルズ・ファーゴ	\$39.3 BILLION
三菱UFJフィナンシャル・グループ(MUFG)	\$38.1 BILLION
パークレイズ	\$35.4 BILLION
ロイヤル・バンク・オブ・カナダ(RBC)	\$34.3 BILLION
トロント・ドミニオン(TD)	\$29.0 BILLION
ゴールドマン・サックス	\$28.5 BILLION
三井住友フィナンシャルグループ	\$27.9 BILLION
モルガン・スタンレー	\$27.0 BILLION

免責事項

著者は、本報告書の情報は信頼できる情報源から得たものと考えており、掲載されたデータおよび分析について十分な調査を行うよう努めていますが、この情報の正確性、完全性、信頼性を保証するものではありません。データは時間の経過とともに変化したり、解釈の違いが生じ得る可能性があるため、利用者には本情報に依拠する前に独自に検証することを推奨します。著者は、本報告書に記載された情報の使用またはそれへの依拠に起因するいかなる責任も否認します。

*完全な引用については、以下のウェブサイトから報告書全文(英語版)をご参照ください。 www.bankingonclimatechaos.org.

Banking on **CLIMATE CHAOS**

FOSSIL FUEL FINANCE REPORT **2025**

BankingonClimateChaos.org

気候カオスをもたらす銀行業務 化石燃料ファイナンス報告書2025

要約版

レインフォレスト・アクション・ネットワーク(RAN日本)
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-13-11-2F | Japan.ran.org

発行日
2025年9月

和訳版の免責事項

本報告書は、英語で発行された“Banking on Climate Chaos: Fossil Fuel Finance Report 2025” 要約版を和訳したものです。
参照、引用、正確な理解のためには英語の原文をご覧ください。



BANKTRACK



CEED

PHOTO: TR STOK / shutterstock